

神奈川県立がんセンター 血液・腫瘍内科（腫瘍） レジデント研修評価表（ 年次）				
レジデント	期（氏名）	2022.3 Ver. 2		
指導医		レジデントは 太枠内を記入		
研修期間	年 月 日～ 年 月 日			
がん専門医研修における腫瘍内科医としての下記の研修目標について自己評価をするとともに、指導医による評価も受ける。				
A:修得した B:ほぼ修得した C:目標に達しない				
	自己評価	実施または 術者	見学または 助手	指導医評価
1. 知識				
1-1)形態、機能、病態生理（血液関連）	A・B・C	/		A・B・C
a)造血臓器および血球の構造と機能	A・B・C		A・B・C	
b)血球生産と分化（造血幹細胞と造血因子）	A・B・C		A・B・C	
c)血漿タンパク	A・B・C		A・B・C	
d)止血機序	A・B・C		A・B・C	
e)血栓機序	A・B・C		A・B・C	
1-2)がんの転移臓器の病態生理				
a)リンパ節	A・B・C			A・B・C
b)その他（骨、肺、肝、胸腹膜、等）	A・B・C			A・B・C
2)主要症候				
貧血、多血、発熱、出血傾向、肝脾腫、リンパ節腫大、食思不振、がん性疼痛、呼吸困難、腹部膨満	A・B・C			A・B・C
2. 診察				
1)リンパ節、肝脾腫触診	A・B・C・症例なし	/		A・B・C
2)出血傾向視診	A・B・C・症例なし		A・B・C	
3)疼痛評価	A・B・C・症例なし		A・B・C	
3. 検査				
1)血算、凝固検査、データ解釈ができる	A・B・C・症例なし	/		A・B・C
2)骨髄穿刺・生検 手技（一人で安全に行える）	A・B・C・症例なし		A・B・C	
3)骨髄像の鏡頭ができる	A・B・C・症例なし		A・B・C	
4)放射線診断：CT、MRI、FDG-PET	A・B・C・症例なし		A・B・C	
5)細胞表面形質（解釈ができる）	A・B・C・症例なし		A・B・C	
6)リンパ節検査				
a)標本作成依頼（染色体検査、表面形質、FISH、凍結切片など）	A・B・C・症例なし	/		A・B・C
b)鏡検および検査所見の解釈	A・B・C・症例なし		A・B・C	
7)体腔液検査（胸水、腹水、脳脊髄液など）	A・B・C・症例なし		A・B・C	
8)輸血関連検査（ABO型・Rh型・交差適合試験）	A・B・C・症例なし		A・B・C	
9)染色体、遺伝子				
a)G分染法、FISH法、SKY法	A・B・C・症例なし	/		A・B・C
b)分子生物学的検査	A・B・C・症例なし		A・B・C	
10)がんゲノムパネル検査	A・B・C・症例なし			A・B・C
4. 治療				
1)食事指導	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
2)成熟リンパ系腫瘍の薬物療法				
a)ホジキンリンパ腫	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
b)非ホジキンリンパ腫	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
c)多発性骨髄腫	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
3)自家造血幹細胞採取と移植	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
4)がん患者の管理、治療の基本原則				
a)手術	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
b)放射線治療	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
c)薬物療法	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
d)支持療法				
①支持療法	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
②オンコロジーエマーゼンシー	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
③栄養管理	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
④腫瘍随伴症候群	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
5)感染症の管理・治療	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
6)緩和ケアと終末期ケア				
a)疼痛	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
b)その他症状	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
c)リハビリテーション	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
5. 学術的研究活動				
		演者または著者	共同演者 または共著者	
1)学会発表	A・B・C	件	件	A・B・C
2)論文発表	A・B・C	件	件	A・B・C
レジデント自由記載欄：（欄不足の場合は裏面へ）				
評価： 年 月 日	判定： 優 ・ 良 ・ 可 ・ 不可			
指導医記載欄：				

提出方法：レジデントは研修期間終了時に自己評価を記入して指導医に提出し、指導医は指導医評価を記入後1ヵ月以内に総務企画課に提出すること。